

用されてゐるが、同時に聯邦政府に依り收入税から鑛物を除外する口實ともなつてゐる。英國式の收入税則に依れば消耗財の原則は認められてゐない。課税の全般を視るに大衆は明かに鑛物を特殊な範疇に屬する財と見做してゐるが此の範疇の性質に就いては考察は區々で混亂してゐる。課税問題は本章に論じた其の他の全政治問題に密接に事實上包含されて居り、何等かの統一ある公正な根據に基づく解決は、資源保存問題に採用される一般大衆的政策、鑛物の大衆的統制、國際關係によつて早晚決せらるべきものである。(未完)

新著紹介

○中國南洋交通史

馮承鈞 著
商務印書館發行
定價 一元七角

この書は文化史叢書の第一輯で王雲五と傅緯平二氏が主編者である。邦貨一回七十錢、四六版二九六頁である。文化史叢書は二十種もあるうちで、この交通史は面白い、漢代印度

新著紹介

に達した航路とか法顯の歸航の路とか常駿が赤土に使した航路、さては賈耽の廣州通海夷道などすべて我國では藤田豊八博士の東西交通史研究南海篇の所論をはじめ、Rockhillの趙汝造の諸蕃志等の外人の研究をみた上で、支那の地理學者の考説を披擲したものである。

漢時の交通黃支國のごときは新しい説でもない同時に己程不國などの説明も欠けてはゐるから、漢代の地理研究として之をみた時には、十分な考證であるとはいへない。けれども本書はさうした細部の問題を取り扱つたものではなく、主として日、西諸家の今日迄の學説を網羅し、上篇は漢から明代鄭和之下西洋に止まり、下篇に於て二十四史に見えてゐる南洋諸蕃のすべての文書を集輯し、其地名に羅馬字で假名がついてゐるといふ便利さがある。従つて支那人の南洋航海に關する一般概念を得るために本書程便利なものはない、一々の考證に若干の寸隙があるにしても、我等はまづ本書によつて手がかりをつかむことが出来る。ことに漢文であるから、簡單明瞭に記されてゐるといふ長所もある、讀者のこの方面の研究家に一讀をすゝめる。(藤田)

○増補日本民家史

藤田元春 著
刀江書院發行
特價 八圓

本書第一版が世に問はれて既に十年の星霜がたつた。其間民家研究は一部の流行とでもいふべく、各地誌類に民家を記さないものはないやうになつた。本書はその増補版として凡そ百五十頁程の論文を加へられたが、その中に遠江池田庄の

三元五

七三

中世の古文書が解説されてある。我國村落發達史の材料と見られる。又支那江南の民家と散村の報告とか、飛驒の民家など新しい材料がのつてゐる。定價千圓といふのはやゝ高いけれども、菊版八百頁圖版二百をこえる、民家研究では最も尨大な一巻であらう。(井上)

雜報

○支那の放送事業

支那では大正十一年に米國會社支那放送協會が生れ上海で着手したが三ヶ月で閉鎖したのをはじめとし、次に米國のラヂオ販賣會社が放送局をやつたがこれも六ヶ月で閉鎖した、ついでケロッグ商會が放送を始めた昭和二年になると支那人の手で新放送局が出来、市況、カーレント・トビックス、支那音樂等放送され、それより各地に外人の放送局が出現しまつ天津廣播電臺に於て長波放送が開始し北平に二十ワットの北平電臺が出来、昭和三年に杭州、ついで同じく南京に於て中央廣播電臺が出来て政府の命令や主要ニュースを放送した、現在南京東門外の江岸にあつて七十五キロワット支那最大の放送局である。それから雲南の昆明、湖北の漢口、廣西の南寧、四川の重慶、福建の福州、廣東の廣州、江西の南昌、山東の濟南等いづれも電臺を經營し、江浙戰爭や國民革命の動亂機に盛んに軍閥の利用する所となり、利に敏き支那人は之を商業宣傳に用ひ次で上海事件といふ割

期的事件で飛行機とラヂオは支那政府注目のもとゝなつた。爾來この方面の進歩著しく現在外、支人官民放送局は八十八局の多きに達し上海に三十七局、江蘇省十四、河北省十、浙江省九、山東四、廣東二、安徽二、四川二、江西、雲南、湖北、湖南、河南、陝西、山西、廣西各省は各一局全放送電力十萬四千六百七十三ワットに達した。

政治的中心の漢口、杭州、重慶、南寧、廣東、福州、南昌、濟南、北平、鎮江、太原等は中央政府又は省政府の經營で主として政府命令訓示の傳達に用ひられ、寧波、天津、青島、無錫、嘉興、蘇州等商業都市では民間經營で宣傳用に使用される。

昭和七年民營放送局暫行取締規則が出来てはじめて取締が出来てはゐるが、大體に於て統一は完全に出来てゐないものと見るべきであらう。

○蘇聯邦貿易品の變化

一昔以前ロシアの輸出物といへば一言にして原料品輸出國であつた。木材・毛皮・小麥・石油等歐洲に進出して穀物倉といふ名稱さへあつた。しかし其後に於ける社會主義的建設の異常なる躍進と、ロシアの工業化といふことが、第一次五ヶ年計劃第二次五ヶ年計劃のもとに著々として効を奏し、其結果一九三六年度には蘇聯邦の工業製品の輸出は全輸出の八四%に達し、一方農業原料品の輸出は總に一五%強にすぎぬといふ統計を示めすやうにかはつた。このことはロシアの經濟地理を教授するに當つて、